



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年1月31日

上場会社名 株式会社 シモジマ 上場取引所 東
 コード番号 7482 URL <http://www.shimojima.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 下島 和光
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経理本部長 (氏名) 谷中 浩三 TEL 03-3862-8626
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	36,973	1.5	2,179	△9.5	2,297	△9.4	1,338	△5.1
24年3月期第3四半期	36,426	△2.5	2,408	14.3	2,535	18.4	1,411	18.7

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,345百万円 (△5.4%) 24年3月期第3四半期 1,423百万円 (25.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	57.04	—
24年3月期第3四半期	59.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	36,642	29,998	81.8	1,277.35
24年3月期	35,827	29,146	81.3	1,240.62

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 29,980百万円 24年3月期 29,118百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年3月期	—	11.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,700	3.0	2,740	7.1	2,800	3.4	1,680	9.0	71.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	24,257,826株	24年3月期	24,257,826株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	787,165株	24年3月期	786,986株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	23,470,741株	24年3月期3Q	23,553,608株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要により緩やかな回復の兆しがみられたものの、一方では欧州の債務危機問題や長引いていた円高、さらに新興国経済の成長鈍化などから、夏以降の消費に陰りもみられ、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもとで、当社グループは、基本理念である「お客様のニーズに迅速かつ的確にお応えする」ことを基本に、販売体制及び利益基盤の強化に取り組んでまいりました。営業販売部門においては、特に直販営業部門と業態開発部門で新規顧客開拓と新規提案商品による特注商品の受注活動など深耕取引に注力したことにより、比較的順調に売上の増加を達成いたしました。店舗販売部門においては、徹底した品切れ防止と接客マナーの再教育の徹底を図りお客様にご満足いただける店づくりをしてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間においては、全体では売上は計画と比べ若干下回ったものの前期比増収を確保いたしました。利益面においては、紙製品事業で生産子会社の新工場建設及び新規設備の導入による影響を受けて一時的に生産が減少し、併せて紙製品の特注商品割合が高くなったこと等の要因で粗利率が低下いたしました。販売費及び一般管理費は、売上の増加と小口発送の増加等に伴う物流費と基幹システムの開発費、子会社の建物及び設備増設による減価償却費等が増加いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は369億73百万円（前年同期比1.5%増）となりました。利益面においては、連結営業利益21億79百万円（前年同期比9.5%減）、連結経常利益22億97百万円（前年同期比9.4%減）連結純利益13億38百万円（前年同期比5.1%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

〔紙製品事業〕

紙袋・包装紙・紙器は当社グループの主力商品であり、主に当社オリジナルブランド商品を販売いたしております。前期から継続して実施しております紙袋の特注品受注活動が奏功したことに加え、紙器関連商品の充実等の要因で売上が増加いたしました。この結果、紙製品事業の連結売上は73億82百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

〔化成品・包装資材事業〕

ポリ袋・PP袋等の化成品と、粘着テープ・食品関連包材・紐リボン等の一般包装資材は社会ニーズに適合した商品開発を推進し、販売強化を図っております。ポリ袋等化成品の特注品受注の強化、農業関連資材・食品容器関連資材等を中心とした売上強化に努めました。この結果、化成品・包装資材事業の連結売上は189億16百万円（前年同期比2.4%増）となりました。

〔店舗用品事業〕

事務用品・商店用品・日用雑貨等を含む店舗用品事業は、当社オリジナルブランド商品を含め多岐に亘っております。「店舗及び事務所で使用するあらゆる物が揃う」をコンセプトにした販売体制を整え事業展開しております。この事業セグメントの主力である文具・事務用品等の販売不振が続き、その対応を進めているところであります。この結果、店舗用品事業の連結売上は106億74百万円（前年同期比1.9%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、366億42百万円となり、前連結会計年度末に比べて8億14百万円増加しました。流動資産は187億14百万円となり、2億27百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金が4億36百万円、たな卸資産が6億57百万円それぞれ減少しましたが、売上債権が12億36百万円増加したことによるものであります。固定資産は179億28百万円となり、5億87百万円増加しました。主な要因は、生産子会社の工場の増設等で建物及び構築物が5億62百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は66億43百万円となり、前連結会計年度末に比べて37百万円減少しました。流動負債は46億36百万円となり、1億4百万円減少しました。主な要因は、法人税等の納付で未払法人税等が2億23百万円減少したことによるものであります。固定負債は20億7百万円となり、67百万円増加しました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産額合計は、299億98百万円となり、8億52百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金が8億46百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.5ポイント上昇し、81.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月9日公表いたしました連結業績予測から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(税金費用の計算)

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正の伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,967	6,531
受取手形及び売掛金	5,303	6,539
商品及び製品	5,135	4,464
原材料及び貯蔵品	513	528
その他	582	666
貸倒引当金	△17	△16
流動資産合計	18,486	18,714
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,879	5,441
土地	7,279	7,280
その他（純額）	1,635	1,666
有形固定資産合計	13,794	14,389
無形固定資産		
のれん	137	83
その他	1,166	1,085
無形固定資産合計	1,304	1,169
投資その他の資産		
その他	2,305	2,422
貸倒引当金	△64	△52
投資その他の資産合計	2,241	2,369
固定資産合計	17,340	17,928
資産合計	35,827	36,642

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,417	2,544
未払法人税等	805	581
賞与引当金	316	116
役員賞与引当金	38	29
その他	1,162	1,363
流動負債合計	4,740	4,636
固定負債		
退職給付引当金	694	742
その他	1,245	1,265
固定負債合計	1,940	2,007
負債合計	6,680	6,643
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,405	1,405
資本剰余金	1,304	1,304
利益剰余金	33,406	34,252
自己株式	△877	△877
株主資本合計	35,238	36,084
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	106	118
繰延ヘッジ損益	1	5
土地再評価差額金	△6,228	△6,228
その他の包括利益累計額合計	△6,120	△6,104
少数株主持分	28	18
純資産合計	29,146	29,998
負債純資産合計	35,827	36,642

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	36,426	36,973
売上原価	24,044	24,636
売上総利益	12,381	12,336
販売費及び一般管理費	9,972	10,157
営業利益	2,408	2,179
営業外収益		
受取利息	35	27
受取配当金	5	3
受取賃貸料	43	20
為替差益	7	29
雑収入	112	104
営業外収益合計	204	184
営業外費用		
売上割引	51	57
支払利息	0	0
雑損失	26	7
営業外費用合計	78	65
経常利益	2,535	2,297
特別利益		
保険解約返戻金	0	0
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産除却損	1	6
投資有価証券売却損	2	—
その他	—	1
特別損失合計	3	7
税金等調整前四半期純利益	2,532	2,291
法人税等	1,141	961
少数株主損益調整前四半期純利益	1,391	1,330
少数株主損失(△)	△19	△8
四半期純利益	1,411	1,338

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,391	1,330
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	11
繰延ヘッジ損益	△21	3
土地再評価差額金	46	—
その他の包括利益合計	31	15
四半期包括利益	1,423	1,345
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,442	1,354
少数株主に係る四半期包括利益	△19	△8

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	紙製品	化成品・ 包装資材	店舗用品				
売上高							
外部顧客への売上高	7,079	18,466	10,879	—	36,426	—	36,426
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	6	—	792	799	△799	—
計	7,079	18,473	10,879	792	37,225	△799	36,426
セグメント利益	1,373	1,790	335	53	3,553	△1,144	2,408

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、内容は物流事業であります。

2. セグメント利益の調整額△1,144百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	紙製品	化成品・ 包装資材	店舗用品				
売上高							
外部顧客への売上高	7,382	18,916	10,674	—	36,973	—	36,973
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	7	—	750	758	△758	—
計	7,382	18,924	10,674	750	37,731	△758	36,973
セグメント利益	1,109	2,006	235	16	3,368	△1,189	2,179

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、内容は物流事業であります。

2. セグメント利益の調整額△1,189百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。